

一般質問通告書

【第75回定例会】

多可町議会議長 清水 俊博 様
 多可町議員 橋尾 哲夫



受 領 日	番号
平成29年2月23日	2
午前・午後 8時39分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p>1. 大災害に備えた、県共済フェニックスの加入促進策について</p> <p>自然災害から「住まい」「家財」を守るために、兵庫県住宅再建共済制度フェニックス共済 多可町の加入率12.5%で、12町の内11位です。災害の危険性の認識が他市町より相当低くこれでいいのか不安です。町役場職員の加入率はどうですか。近隣市町では小野市25.4% 佐用町32.9% 神河町28.4%です。各市町により、危機意識の差が大きいです。どうすれば危機意識を高めて、加入率を増加させることが大切です。</p>	町長
<p>2. 文化芸術の振興策について</p> <p>本年度は毎年恒例の多可町公募美術展が中止になりました。その原因は、多可町文化連盟が、展覧会の設営準備が出来なくなったためです。来年度は、町は文化連盟に対しその展覧会が重荷にならないよう支援体制をとることです。ベルディホール事業に子供（小学生、中学生、高校生）に対する芸能に対する育成事業を実施すること。本年度は学校やクラブ等と育成事業準備会を設置し、十分検討すること。</p>	町長
<p>3. 各集落にその土地の歴史等風土記の案内板の設置策について</p> <p>多可町は10周年記念として62集落を訪ねて、多可の里風土記を刊行しています。この本は多可町の各集落の歴史等詳しく書かれています。各集落が多可町のどの位置にあるか、わが故郷の魅力がここにあるのか、この本で新たな発見ができます。また、他集落のことを知りこんな歴史的出来事があったのかを知り、各集落に関心が持てます。各公民館の空き地に、各集落の里風土記の案内板を設置してはどうか。62集落に1基10万円としても、3年間であれば予算も各年200万程度で済みます。</p>	町長